

鐘楼門の上棟式

藤枝市の宗乗寺様（曹洞宗）では鐘楼門の上棟式が一〇月二六日に執り行われました。総代さんにも参列していただき、前日までの雨も上がった快晴の空の下、ご住職の読経が響きわたりました。

鐘楼門は二層になり上層内部に梵鐘を吊り下げる作業も同時に行いました。撞木を立てる作業も同時に進めました。今年三月に完成予定なので大晦日の除夜の鐘が楽しみです。



上棟より2ヶ月ほどが経ちかなり工事が進み、これから屋根工事に入ります。安全第一に進めてまいります。

喜びの落慶式

一〇月一四日に瑞生寺様（浜松市・曹洞宗）は令和元年一〇月より令和二年本堂耐震屋根替えを行い、また昨年の三月には水屋と防災倉庫を含む境内整備工事が終了し落慶式が行われました。

ご住職は地域に根差した開けたお寺を目指されており、防災や減災を一番に考え、万が一の時の防災拠点として対応できる設備を整えられました。このようなご寺院は珍しく、率先して取り組む姿勢は教えられることばかりでした。また、感謝状もいただきありがとうございました。



快晴の本堂上棟式

青空が広がる一二月四日に本堂の上棟式を、三島市の宗福寺様（曹洞宗）で行いました。参列したのは総代さんなどの役員方々に限られ、ご住職による法要の後には大工によって工匠の儀を無事に執り行うことができました。今年の初めには庫裡の工事も始まり、並行して進められ年内の完成を目指しております。



25歳の葛城は棟梁として臨む初めての現場に。これからの成長が楽しみです。